

# 常幸 議会報告

第29号  
2013. 1

発行責任者  
南魚沼市議会議員 関 常幸  
南魚沼市浦佐 2015 番地  
TEL 025-777-2245



## 寒中お見舞い申しあげます

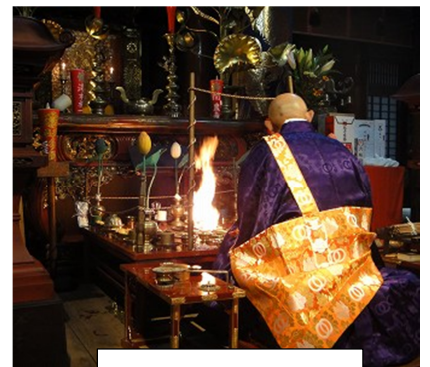
おだやかに、ご家族で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。私は毘沙門堂で新年を迎えました。毘沙門堂内は二年参りで混雑していたが、内陣は凜とした空気がたどよい別世界だ。毘沙門天を正面に、新年のお護摩の火に、強い日本と閉塞感漂う社会からの脱却、強い日本経済の発展を願った。元旦の2時が少し回ったと思うが水行を行う。オンベイシラマンダヤソワカと3回唱え、不動明王に3月3日裸押合大祭の無事故を。そして、基幹病院を核としたメデカルタウン構想の実現、二つの市民病院(大和、六日町)の再編整備と国際大学に4年生学部の設置をお願いし、南魚沼市の更なる発展を念じた。

- ・今年は何年だ。蛇は脱皮することから「復活と再生」の年と言われている…。
- ・国民は民主党から脱皮し、自民党を選んだ。自民党も古い自民党から脱皮した。
- ・安倍政権の1丁目1番地は「経済の再生」だ。
- ・デフレと円高からの脱却、雇用と所得を拡大し、強い経済を作ると宣言した。

国も10兆円という24年度補正予算を決定し、緊急経済対策として本格的に動き出した。待っていても良くなる。私ども一人一人が脱皮し、新たな夢に向かって進むところに「富」「幸」が待っている。今年が皆さまにとって更なる飛躍の年となることを信じて…。

さて、今年7月に参議院選挙、10月に市議会選挙が行われる。昨年の12月の衆議院選挙は自民党が圧勝したが、経済政策、円高・デフレ対策、TPP、外交、原発等々と重要課題が山積しており、一つでも失政すれば、7月の参議院選挙自民党は敗北する…。

南魚沼市も多くの重要政策が進行中だ。合併の総仕上げとして、10月の市議会選挙しっかりと準備をし進みたい。



お護摩の火！！

## 市長選挙後初の12月定例議会

十二月十一日から二十一日までの十一日間は、前半が衆議院選挙と重なり、かなりハードの日々を過ごす。一般会計や特別会計の補正予算、条例一部改正などに加え、副市長、教育委員、監査委員の選任や任命の同意など25議案を審議。また、20人が一般質問する。

議会初日に、補欠選挙で当選を果たした「笹木晶」氏の紹介と挨拶がある。笹木議員は、旧塩沢町役場職員のOB。現在は市農業委員、栃窪パノラム農産の代表。

初日の審議が終わり、小原副市長と廣井監査委員の退任の挨拶がある。

遠山教育長は、議会最終日の審議終了後に退任の挨拶。新生南魚沼市創りに井口市長を支え、今日あるのも、お三人のおかげです。本当にご苦労様でした。

## 一般質問(12月18日)

先の市長選挙は三人が立候補するという厳しく大変な選挙だった。市長選挙からちょうど一か月がたった。この間に衆議院選挙が行われ、自民党が政権を奪還した。

市長選挙と5区の衆議院選挙の勝者の大きな共通は、市民への訴えが、プラス志向で市民に夢をあたえたことだ。

さて、今度は国政に「長島ただよし」という太いパイプができた。南魚沼市の合併の総仕上げ、思う存分に仕事をしてもらいたい。

そして、次の後継者にバトンを渡す4年間としてください。

15日に退任された小原副市長さん、その席が空席なのがさびしい思いです。そして、12月25日に勇退される遠山教育長さんは、「未来を担う子どもは市の宝だ」を真ん中に学校教育・行政に携わって来られた。

お二人とも、長い間本当にありがとうございました。健康にご留意し、たまには一杯やりましょう。

では、先に通告した2点について質問する。

### ●市長3期目を問う

議会初日の所信表明で「来るべき人口減少・少子高齢社会に対応すべく、南魚沼市としての諸施策と行政組織の在り方を確立し」とあり、人口減少は進むといている。

人口減少に歯止めがかからないまちが「希望を持てる市」と言えるのか……。

選挙戦で訴えた、地域医療体制の整備、雇用の確保、災害復旧・防災対策、財政の健全化を最重要課題にあげ、「南魚沼の将来」へ

の公約として11項目あげている。

その公約「希望あふれて伸びるまち」「四季の彩り映えるまち」「時代新たに開くまち」を実践することにより、人口減少は止まり人口が増加し、それこそ「希望を持てる市」になるのではないかと。人口が減るところに希望はもてないのではないかと。

この4年間で、「人口が増加する」具体的な道筋(施策)を作ることが、4つの最重要課題に勝るとも劣らない重要課題と思うが、市長の考えを伺う。

### <市長>

子どもは欲しいが、経済的理由で3人、4人は無理と言う方が多いので、一にも二にも雇用の確保。具体的には、基幹病院を核としたメデカルタウン構想実現により働く場の確保を図る。

そして、子育ての施策を洗いなおし、産み育てやすい環境を作る。

### ●中学生の学力向上を図れ

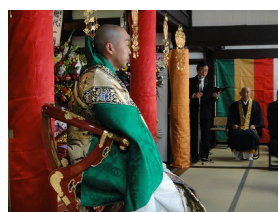
中学校の18年から24年までの標準学力調査(NRT)結果は、全国や新潟県を下回っている。学校では、生徒の学力を上げるために、さまざまな取り組みを行っているが、なかなか結果が出ない。学力を向上するにはどうすべきか。

### <教育長>

①小学校における国際化の充実。②受験学力に配慮した教科書の選定。③先生の授業の質を上げる対策。④学ぶと言う事に力点(宿題の量と質を上げる)⑤将来の夢と希望を持たせる。⑥保護者や子どもの不安や心配の解消に努める。

トピックス

10/31~11/10 浦佐菊まつり



11/4 普光寺住職晋山式

11/18 市長選挙投票日



11/23 隼人奈保子さん  
おめでとう

# 12月議会概要(11日~21日)

## ★ 市長所信表明



市長選挙後初の議会。3期目の激戦を勝ち抜いた所信表明は力強く2年後に市制施行10年を控え、今後の4年間は南魚沼市合併の総仕上げとさらなる発展のために、全身全霊を傾けて取り組むと、宣言する。

### ●第1に「保健・医療・福祉」

- ・27年開院の基幹病院と再編する2つの市立病院を核とした医療体制の確立。
- ・養護老人ホーム魚沼荘の改築は、28年4月の供用開始を目指す。
- ・子育て支援、障がい・高齢者福祉に関しては、選択と集中で、さらなる充実を。

### ●第2に「教育・文化」

- ・国際大学へ4年生学部の誘致。 ・国際大学、北里学院との産官学連携の強化。
- ・中学生海外派遣事業や海外姉妹都市を中心とした国際交流の推進。
- ・城内、大巻、五十沢の三中学校の統合問題。
- ・運動公園整備事業1期工事（野球場、多目的グラウンド等）は26年度完了。

### ●第3に「環境共生」

- ・温室効果ガス排出量削減のために、森林カーボンオフセット制度に取り組む。
- ・来年度から太陽光発電システム設置費の補助制度を設ける。
- ・地盤沈下対策では、地下水に依存しない消雪対策について調査研究を行う。

### ●第4に「都市基盤」

- ・地下水採取規制区域において、克雪対策で水道水を利用する実験を行う。
- ・市公共交通協議会で、地域公共交通ネットワーク計画の策定を検討。

### ●第5に「産業振興」

- ・「人・農地プラン」等の制度を活用し、農地集積と規模拡大による持続可能な農業を目指す。
- ・企業誘致や起業を促進させる施策を展開し、働く場を確保する。
- ・メデカルタウン構想の実現で働く場の確保。
- ・スポーツイベントの一層の充実を図り、四季を通じさらなる観光交流を活発化させる。

### ●第6に「行財政改革・市民参画」

- ・地域コミュニティー事業のさらなる充実を図る。
- ・今後10年間で、市の負債額を216億円削減する。 ・職員数も50人削減する予定。

## <議会初日と最終日に人事案件が提案される>

市長が再選したから小原副市長、遠山教育長も留任と思っていたが、本人の強い希望もあり勇退する。4年前、教育委員の人事案件の採択時に、議場を退席し反対の意思表示をした議員のことを思い出した……。激しい市長選挙が終わったばかりだから、反対者がいなければと思ったが、全会一致で選任、任命された。

採択は無記名投票で行われ、井口市政の第一歩がスタートする。 ●副市長に岡村聡氏(前総務部長) ●教育委員に南雲権治氏(前教育部長)と島田裕子氏。12/25の教育委員会で南雲氏が教育長に就任。 ●監査委員、廣井正一氏から河野和男氏へ。

11/25 びしゃもん市感謝のまつり



12/4 南魚選挙出陣式

12/16 長島夫婦と美酒を！



1/1 大寺、千手院、宮司に年始



## かわら版(ミニ情報)



浦佐小学生もテープカットに参加

### ★浦佐 17 号バイパス部分開通(12 月 22 日)

浦佐地内の冬季の除雪障害等が問題となっており、浦佐バイパスは、その解消と魚沼基幹病院が平成 27 年に開院するので、まさに「命の道」として期待されている。

市野江～虫野間の総延長 6.6 km のバイパス事業のうち、水無大橋を含む 1.1 km が開通した。「命の道」ですので全線の早期開通が切望されている。現政権は「国土強靱化」や「景気対策」を掲げているので、予算を確保するためのさらなる運動が大切だ。

市野江～虫野間の総延長 6.6 km のバイパス事業

### ★長島代議士へ新年のあいさつに(1 月 8 日)

農林水産大臣政務官と復興大臣政務官を拝命し内閣の一員となる。政務官は大臣を補佐し国会との交渉や政策の企画などの政務を担当する特別職であり、二つの政務官をこなすという事は激務だ……。



政務官室にて

ほとんど選挙区に帰れないのではないかと思います。一方、中越地震・山古志村の経験を活かし、被災地の一日でも早い復旧復興のために全精力を、又、TPP 問題を安倍総理が、選挙公約違反しないように農林省の力を発揮してもらいたい。

先生は「確かに二つの政務官は大変だが、覚悟はできている・不眠不休で頑張る。もちろん、出来るだけ選挙区に帰るが、今までのようにいかない……」と話す。

先生が国家国民のために、憂いなく仕事出来るように、盤石な支援組織が必要だ。だから、地元によく帰ってきてもらいたいのだが……。復興政務官として岩手県が担当のようですが、健康に留意され被災者のために頑張ってください。

### ★大和商工会新春賀詞交換会(1 月 11 日)



駒形会長あいさつ

恒例の賀詞交換会がホテルオカベにて開催される。一部は新年にふさわしく、「新春旅立ちライブ」として、海賊シンガーソングライターの ARK。31 歳から本格的に活動し、人生という大海原を舞台に、ARK 船長という独特な世界で、観客を様々な世界に誘う。誰もが持っている「可能性」こそ、究極のエンターティナーと話す。



海賊船長「ARK」とギタリスト「アッシ」

二部では、各界の名士と年頭のあいさつを交わし、商売繁盛を願い盃を交換する。会は和やかで華やかで盛会裏のうちに終わる。

### ★賽の神まつり(1 月 14 日)

4 回目を迎える「賽の神」。豚汁、甘酒が振る舞われ、子どもは、綿アメとお菓子里大喜び。和久井神主さんのお祓いの後点火される。家内安全、五穀豊穡を願う。



#### 編集後記

町内で屋根の雪下ろしをするのは、我が家と数件となった。昔は屋根の雪掘りと言っていた。雪と格闘し雪国の文化を育んできたが、今後、この自然の恵みである雪と、孫たちはどう向き合うのだろうか！

我が家の仁志、今年の三月三日裸押合大祭多聞青年団最高幹部。最高幹部は毘沙門天に仕えるため二月から「四足二足」を絶つ。大祭の無事故と成功に向けて準備も熱を帯びてきた……。

まだまだ寒さも続きます。風邪に注意し、健康に留意しましょう。